

企業のサイバー攻撃対策の格付け

2025年にも



経産省 2025年にも




企業のサイバー攻撃対策の格付け制度開始へ

昨今のサイバー攻撃ではターゲットの組織を直接狙うのではなく、取引先企業に攻撃を仕掛け、その取引先企業を経由して攻撃を行う“サプライチェーン攻撃”が増加しています。自組織だけ対策を強化しても、こうしたサプライチェーン攻撃への対処はできません。

経済産業省が2025年度にも導入を予定している新制度は、企業のサイバー攻撃対策を5段階で格付けするものです。

参照元：経済産業省 https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sangyo_cyber/
 経済産業省 第8回産業サイバーセキュリティ研究会事務局説明資料より、対策レベルの可視化（イメージ）を元に想定し一部追記して作成

レベル	対象：レベル感の説明	ガイドラインの相当性を認定	ガイドライン準拠を確認する方法を定義
1つ星 ★	中小企業 情報セキュリティ5か条 ① OSやソフトウェアは常に最新の状態にしよう！ ② ウイルス対策ソフトを導入しよう！ ③ パスワードを強化しよう！ ④ 共有設定を見直そう！ ⑤ 脅威や攻撃の手口を知ろう！	参考： IPA情報セキュリティ5か条の取り組み	自己宣言型
2つ星 ★★		参考：IPA情報セキュリティ自社診断の実施と基本方針の策定	参考： SECURITY ACTION ※中小企業自らが、セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度。 約34万社の中小企業が宣言。
3つ星 ★★★	取引先と供給網を構築する企業 サプライチェーン形成企業として 最低限 満たすべき基準	IPA 「中小企業の情報セキュリティガイドライン」	
4つ星 ★★★★	取引先と供給網を構築する企業 サプライチェーン形成企業として 標準的 に満たすべき基準	〇〇業界セキュリティガイドライン ビル分野のガイドライン、自動車分野のガイドライン、スマートホームのガイドライン、工場分野のガイドライン、宇宙分野のガイドライン、医療情報システム安全管理に関するガイドライン、小売電気事業者ガイドライン…	第三者認定型
5つ星 ★★★★★	重要インフラ関連企業 経済安全保障上、特に重要なインフラ事業者、関連サプライヤーが満たすべき基準	重要インフラ行動計画 etc	

格付け制度による影響

この格付け制度によって、情報漏洩対策を含めたセキュリティ対策の強度が外部から可視化され、企業のセキュリティ対策の在り方が企業の信頼度に大きく影響するようになることが想定されます。



その結果、企業の格付けのレベルが高いほど商談などのビジネスの機会で優遇される一方で、レベルが低いと判断された企業は取引などを避けられ、ビジネスの面において大きく差が生まれることも予想されます。従って、企業側にセキュリティ対策への真摯な姿勢が今まで以上に求められ、取引先や消費者側はビジネスパートナーや商品の選定基準に企業のセキュリティへの取り組み方が加わることになるかもしれません。

何から始めれば？ という方は「SECURITY ACTION」

IPA発行：情報セキュリティ5か条

できるところから始めて段階的に「ステップアップ」

ウチには秘密なんかないなあ・・・

いいえ、こんな情報があるはずですよ!

- 従業員のマイナンバー、住所、給与明細
- お客様や取引先の連絡先一覧
- 取引先ごとの仕切り額や取引実績
- 新製品の設計図などの開発情報
- 取引先から“取扱注意”として預かった情報

サイバー攻撃といっても、被害など知れているのでは？

漏れたら大変! こんなダメージが!

- 被害者への損害賠償などの支払い
- 取引停止、顧客流出
- ネットの遮断などによる業務効率のダウン
- 従業員の士気低下

Step1 できるところから始める

Step2 組織的な取り組みを開始

Step3 本格的に取り組む

Step4 より強固にするための方策

情報セキュリティ5か条
SECURITY ACTION ★ 一つ星を宣言

5分でできる! 情報セキュリティ自社診断
SECURITY ACTION ★★ 二つ星を宣言

「情報セキュリティ関連規定」を策定

情報収集と共有
ウェブサイトの情報セキュリティ
クラウドサービスの情報セキュリティ
情報セキュリティサービスの活用
技術的対策例と運用

中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン
経営者が認識すべき3原則と実施すべき重要7項目を解説

自社の取り組み目標に応じたSECURITY ACTIONを宣言!

情報セキュリティ対策の更なる強化

参照元：https://www.ipa.go.jp/security/sme/list.html

参照元：経済産業省 https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sangyo_cyber/
経済産業省 第8回産業サイバーセキュリティ研究会事務局説明資料より、対策レベルの可視化（イメージ）を元に想定し一部追記して作成

SECURITY ACTIONとは？



「SECURITY ACTION」は中小企業自らが、情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度です。安全・安心なIT社会を実現するために創設されました。

まずやってみる SECURITY ACTIONの進め方

取り組み目標に応じて「★一つ星」と「★★二つ星」のロゴマークがあります。

「★一つ星」ロゴマークを使用するには・・・

IPA発行：中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン付録の「情報セキュリティ5か条」に取り組んでください。

「★★二つ星」ロゴマークを使用するには・・・

IPA発行：中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン付録の「5分でできる！情報セキュリティ自社診断」で自社の状況を把握したうえで、情報セキュリティポリシー（基本方針）を定め、外部に公開してください。



※【注意事項】「SECURITY ACTION」は情報セキュリティ対策状況等を、IPAが認定するものではありません。

STEP1. 「SECURITY ACTION ロゴマーク使用規約」を確認する

STEP2. 取り組み目標を決めて「自己宣言者サイト」からお申込み

詳しくはQRコードをチェック

